THE ISHIKAWA PREFECTURAL PHYSICAL THERAPY ASSOCIATION NEWS

公益社団法人
石川県理学療法士会

ニュース

No.141

2019年12月1日

編集人　野　口　雅　弘
発行所　公益社団法人
石川県理学療法士会事務局
金沢市戸水1丁目25
☎(076)254－1431
発行人　神　戸　晃　男
URL　http://www.ishikawa-pt.com/

左上、右上、右下：石川県理学療法士会創立50周年記念式典（金沢東急ホテル）
左下：石川県理学療法士会創立50周年記念祝賀会（金沢東急ホテル）

士会ニュースの項目

巻頭言：「明日を描く」　第29回石川県理学療法学術大会　大会長
金沢医科大学病院　池田　法子 … 2
会長メッセージ：「石川県理学療法士会創立50周年記念式典・祝賀会を終え今後に向けて」
会長　神戸　晃男 … 3
会長行動記録 …… 4
議事録 …… 5
県士会だより …… 9
特派員がゆく …… 25
Active …… 26
賛助会員名簿 …… 29
編集後記 …… 31

巻頭言

「明日を描く」

第29回石川県理学療法学術大会　大会長
金沢医科大学病院　**池田　法子**

初冬の候、会員の皆様におかれましては増々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、この度、第29回石川県理学療法学術大会を令和2年3月1日（日）に金沢医科大学病院で開催する運びとなりました。河北潟と広大な干拓地、その遠くには雄大な立山連峰を仰ぐことができ、また金沢から能登へと繋ぐ、のと里山海道を行きかう車を眺めながら、日本海を一望できる自然に囲まれた内灘町で開催できますことを心より嬉しく思っております。

今年、石川県理学療法士会創立から50周年を迎えました。会員数4名からのスタートではありましたが、今現在1,100名を超える人数となり、組織力を向上させ、歩み続けた50年であったと思います。また、この間、社会情勢変容に伴い、リハビリテーション職種への社会的ニーズも高まり、私たちが臨床で携わる疾患も従来からの中枢疾患や運動器疾患、呼吸器疾患、心疾患に加え、がん疾患や生活習慣病、サルコペニア、フレイル、認知症など多岐に渡り介入することとなりました。医療機関のみならず、介護・福祉施設、行政、健康産業、一般企業など活動の場も大きく拡がったことと思います。今後、私たち理学療法士は、今まで以上の知識と技術を習得し、新たな試みや取組みなどを実践し、さらには効果検証を行い、社会に応えるべく責務を果たして行かなければならないと思います。

今回、学術大会では「明日を描く～未来に繋げ理学療法士の可能性～」をテーマと致しました。日頃、自分たちが行っている取り組みや活動、様々な視点から検討を加えた症例報告や研究などについて多くの発表をして頂き、その上で理学療法を再考し、今後の理学療法の将来を見据え、どのように動き、展開していくのか共に考えていきたいと存じます。

プログラムと致しましては一般演題他、特別講演では脳神経外科医の白神俊裕先生による「血管内治療」について、シンポジウムでは各分野でご活躍なされている理学療法士の方々に新たな取り組みや活動などについて、ご報告頂こうと考えております。また、今回、初の試みではございますが、一般演題では英語でのセッションも企画させていただきました。その他、書籍展示、企業展示なども数多く準備しております。

現在、学術集会開催に向け、スタッフ一同、一丸となって準備を進めております。1日と短い会期ではございますが、会員の皆様方の数多くの御参加をお待ちしております。

会長メッセージ

「石川県理学療法士会創立50周年記念式典･祝賀会を終え今後に向けて」

（公社）石川県理学療法士会
会 長　**神戸　晃男**

去る10月12日（土）、石川県理学療法士会創立50周年記念式典・祝賀会が谷本県知事、山野金沢市長をはじめ、行政、関連団体、賛助会員、国会・県会議員のご来賓と会員を含め、約140名の出席により無事、盛大に終了しました。これも偏に長きにわたる会員の皆様のご尽力はもとより、関係各位のご指導とご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。この度、創立50周年の節目にあたり特別功労感謝状などの感謝状の贈呈を致しました。

特別功労感謝状は今回2人の方に贈呈致しました。1人は立野勝彦氏で昭和54年、文部省管轄初の金沢大学理学療法学科の初代教授として、長きにわたり、理学療法士の養成・育成、啓発に多大に貢献されたことによるものです。次に、荻原新八郎氏は文部省管轄初の金沢大学の教官として、長きにわたり理学療法士の養成・育成、啓発にご尽力され、当会の荻原研究奨励基金設立に深く関わり理学療法の学術向上に大きく貢献されたことによるものです。歴代会長には当時の理事の方々を含め、代表として功労感謝状を贈呈致しました。さらに長きにわたり、当会の活動に対して深いご理解とご支援をいただきました賛助会員には、感謝状を贈呈致しました。当会を導き、支えていただきましたことに改めて感謝申し上げます。

さて、当会の会員数は毎年増加し、現在1,155名となりました。平均年齢は33歳であり、若い会員が多くを占めております。近年、日本は少子、超高齢社会を迎え、2025年までの地域包括ケアシステムの構築、2040年問題といわれる少子化への対応など、社会情勢は目まぐるしく変化しております。医療と介護の連携、行政をはじめ、住民をも含めた多職種の密な連携なくして、この時代を乗りきることができない状況となってきました。

4年前、県リハセンターの支援を受けて石川PT・OT・ST連絡会が発足しました。今後も県内の地域包括ケアシステムの構築のための研修会を継続するとともに、健康寿命の延伸に向けた活動など、シルバーリハビリ体操を含む住民主体の講習会も開催して、県内にその輪を積極的に広げていきたいと思います。

一方、今年4月に、リハビリテーション科医、石川県PT・OT・ST会、介護支援専門員協会などの連携・協力により大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会であるJRAT（Japan Rehabilitation Assistance Team）石川が設立され、今後、災害対策への準備と強化を本格的に開始していきたいと思います。

今後もプロフェッションとして、生涯、質の向上に努めると共に、職場では若い会員が管理・運営、新人教育指導を行う環境においては幅広く教養を身につけ、プロフェッショナルとして対応していくことが益々重要視されてくると思われます。

間近に控えたオリンピック、パラリンピックへの支援や、今後、益々変化する県民のニーズに対して、柔軟かつ創造性豊かな人材育成を推進し、県民の期待にこれからも応えていきましょう。

会長行動記録（2019年7月20日～10月15日）

7 月 28 日（公社）石川県医師会　総会・祝賀会出席（金沢）
7 月 30 日 障害認定審査会出席（かほく）
8 月 7 日 石川県 PT・OT・ST 連絡会出席（金沢）
8 月 20 日 石川県理学療法士会創立 50 周年記念誌編集委員会出席（金沢）
8 月 25 日 JRAT 石川主催　災害対策研修会出席（金沢）
8 月 26 日 障害認定審査会出席（かほく）
8 月 28 日 第 1 回金沢市介護保険運営協議会出席（金沢）
8 月 29 日（公社）石川県理学療法士会主催納涼会出席（金沢）
9 月 3 日 石川県理学療法士会創立 50 周年記念事業運営委員会出席（金沢）
9 月 5 日（公社）石川県理学療法士会　定例理事会出席（金沢）
9 月 10 日 石川県理学療法士会創立 50 周年記念誌編集委員会出席（金沢）
9 月 14，15 日
（公社）石川県理学療法士会 PT 講習会（かほく）
9 月 17 日 臨床実習指導者養成会議出席（金沢）
9 月 18 日（公社）石川県理学療法士会　臨時理事会出席（金沢）
9 月 21 日（公社）石川県理学療法士会　三役会　会議出席（金沢）
9 月 30 日 障害認定審査会出席（かほく）
10 月 3 日 日本理学療法士協会　第 1 回組織・規則等検証委員会出席（東京）
10 月 7 日 石川県 PT・OT・ST 連絡会出席（金沢）
JRAT 石川　会議出席（金沢）
10 月 9 日（公社）石川県理学療法士会　臨時理事会出席（金沢）
石川県理学療法士会創立 50 周年記念事業運営委員会出席（金沢）
10 月 12 日（公社）石川県理学療法士会創立 50 周年記念式典・祝賀会出席（金沢）

厚生省、身体障害者福祉法、労働省指定
(社)日本義肢協会会員　登録・中部115号
K.GISHI
㈱金沢義肢製作所
〒920-0935
金沢市石引 1 丁目11の 6
TEL (076) 231-3328
FAX (076) 262-0930

SAISEIKAN Co.LTD.,
Prosthetist & Orthotist
(株) 済世館
会　社　金沢市三口新町2-2-25
TEL 076 (231) 7284
FAX 076 (231) 6708

理事会議事録

令和元年度 第5回 公益社団法人石川県理学療法士会
理事会議事録

1．開催日時　令和元年9月5日（木）
　　19：00～21：30
2．開催場所　士会事務所
3．出 席 者
　理事　神戸晃男、諏訪勝志、北谷正浩、矢野昌充、廣瀬辰巳、小堺武士、向田裕明、吉本真樹、山川友和、浅川佳祐、丸居夕利佳、霜下和也、木村創史　（13名／15名）
　監事　淺井　仁、長田　勉
　書記　村田雅人
4．欠 席 者
　理事　野口雅弘、松﨑太郎、
　監事
5．議長の選任
　理事総数の半数以上の出席をみたので、議長に神戸晃男を互選にて選出した。
6．議事録署名人の選任
　定款第31条の規定により、次の者が選出された。
　議長　神戸　晃男
　理事　諏訪　勝志、廣瀬　辰巳
　監事　淺井　仁、　長田　勉
7．議案及び議事の顛末
第1号議案　第38回東海北陸理学療法学術大会大会長および準備委員長の選出について
　神戸会長より、継続審議となっている第38回東海北陸理学療法学術大会大会長および準備委員長の選出について提案があった。

　審議の結果、大会長には神戸会長が選出され、理事会はこれを承認した。
　準備委員長には野口理事が選出され、理事会はこれを承認した。
第2号議案　学術大会運営細則の作成について
　小堺理事より、学術大会運営細則の作成について提案があった。

　審議の結果、学術大会運営細則を作成することとした。
第3号議案　士会事業遂行における安全体制の確保について
　廣瀬理事より、士会事業においてインシデント、アクシデントが散見されており、
　事業計画から遂行における安全管理体制を整えるため、下記の提案があった。
①　事業遂行時の留意事項の作成及び周知
②　必要に応じて保険への加入
③　インシデント・アクシデントレポートの作成
④　安全管理特別委員会の設置準備

　審議の結果、承認した。
第4号議案　部局の口座の開設について
　浅川理事より、現状では予算執行にあたり仮払い現金の精算および立て替え払いになっており、現金取扱者の負担が大きいため、各部局に口座を開設したいと提案があった。

　審議の結果、承認した。
第5号議案　北国ウェブアクセスの運用について
　浅川理事より、複数口座、振り込み業務の簡略化のため、北国ウェブアクセスの運用について提案があった。

　審議の結果、承認した。
第6号議案　事業者との取引条件について
　浅川理事より、振り込み業務の簡略化のため、各部局での業者との取引条件と統一できないかと提案があった。

　審議の結果、承認した。
第7号議案　消耗品の費用振替について
　浅川理事より、事務局のコピー機使用に関する経費は総務部の支出となっているが、各部局の資料等の印刷を事務局のコピー機で行う場合には消耗品の費用振替票を用いてはど

うかと提案があった。

審議の結果、承認した。

第８号議案　今年度の他団体との重点連携項目について

北谷理事より、今年度は介護予防事業、臨床実習指導者養成講習会、国際化に向けた理学療法士の関わり等について、石川県理学療法士連盟をはじめ他団体と連携していきたいと提案があった。

審議の結果、承認した。

第９号議案　臨床実習指導者養成講習会にかかる経費について

神戸会長より、臨床実習指導者養成講習会にかかる経費について、受講者は当初100名を予定していたが、希望者数が多く170名を見込んでいるため、当初予算より増額したいと提案があった。

審議の結果、承認した。

第10号議案　50周年記念誌の配布について

神戸会長より、50周年記念誌の配布について、製本500部（式典での配布、賛助会員および日本理学療法士協会、関連団体、会員施設）と、ホームページにパスワード付きのPDFを置くとの提案があった。

審議の結果、承認した。

冊子は配布後、余り分については部数に限りはあるが、希望会員に無料で配布することとした。

第11号議案　いしかわ福祉水泳に対する賛助会員登録および会費について

吉本理事より、いしかわ福祉水泳協会が主催する水泳教室に理学療法士が参加・協力しているため、当会としても協力団体として賛助会員登録（年会費１口2000円）することについて提案があった。

審議の結果、継続審議とした。

第12号議案　読売医療功労賞について

小堺理事より、表彰委員会の選考により、今年度の読売医療功労賞については神戸会長を応募申請したいと提案があった。

審議の結果、承認した。

第13号議案　会員の異動について

入会46名、復会３名、県内異動12名、県外異動３名、改姓５名、休会３名、退会16名

会員権利停止０名､会員権利停止解除０名、新規施設３箇所、名称変更０箇所

（８月15日現在　正会員1159名、休会89名、名誉会員２名、賛助会員35社）

審議の結果、承認した。

８．報告事項

１）創立50周年記念式典及び祝賀会について

50周年記念事業推進委員会 辻原委員長より、50周年記念式典及び祝賀会について準備状況の報告があった。招待状、案内状を送付し､9月３日時点で132名の参加応募があった。また、式次第案が提示された。

２）事業報告

向田理事より、理学療法啓発事業部が７月14日に理学療法週間事業をアピタ金沢で開催したことが報告された。

３）石川県理学療法学術大会準備の進捗について

山川理事より、石川県理学療法学術大会準備の進捗について報告があった。

４）事務局職員交代について

神戸会長より、７月に事務局派遣職員の交代があったことが報告された。

５）北陸三県交流会について

神戸会長より、今年度は12月７日に富山県で開催予定であることが報告された。

６）調査部アンケートについて

丸居理事より、会員名簿および施設情報に関するアンケート調査実施について報告があった。

７）学術誌の発行について

小堺理事より、現在投稿数が６編であり、今年中の発行を予定していることが報告され

た。

8）県士会メルマガについて

小堺理事より、現在はishikawa-pt.comを使用して配信しているが、配信職員の職場からの要請があり、UMINを使った方法に変更する予定であることが報告された。

9）文書動向

事務局より以下の報告がされた。

文書受理発送	受理文書	公文書	25件
		その他	62件
	発行文書	公文書	91件
		その他	34件

6）次回理事会の開催予定について

理事会

日　時：令和元年11月7日（木）

場　所：（公社）石川県理学療法士会事務局

令和元年度 第6回 公益社団法人石川県理学療法士会理事会議事録

1．開催日時　令和元年9月18日（木）
19：00～21：00

2．開催場所　士会事務所

3．出 席 者

理事　神戸晃男、諏訪勝志、北谷正浩、矢野昌充、小堺武士、向田裕明、吉本真樹、山川友和、浅川佳祐、霜下和也、木村創史、松﨑太郎、野口雅弘（13名／15名）

監事　淺井　仁、長田　勉

書記　村田雅人

4．欠 席 者

理事　廣瀬辰巳、丸居夕利佳

監事

5．議長の選任

理事総数の半数以上の出席をみたので、議長に神戸晃男を互選にて選出した。

6．議事録署名人の選任

定款第31条の規定により、次の者が選出された。

議長　神戸　晃男

理事　諏訪　勝志、北谷　正浩

監事　淺井　仁、　長田　勉

7．議案及び議事の顛末

第1号議案　臨床実習指導者養成講習会にかかる経費の増加額について

神戸会長より、予定の1.7倍の170名を受け入れることとしたため、講師料、印刷代等が当初予算より増加するため、前回理事会で増額が承認されたことについて説明があり、具体的な修正案A, 修正案Bが提示された。資料代の徴収も含めて議論された。

理事からは、①予想以上に応募者が多く、受講者を増やしたいという気持ちは理解できるが、その段階で早急に理事会を招集するべきであった、②県士会として大切な事業であり、後進の育成は必要であることは間違いないが、予算執行は手続きをしっかり踏んで欲しい、等の意見があった。

審議の結果、資料代を参加者一人あたり1000円徴収した上で修正案Aを採用することで承認した。また、今後の士会事業の予算執行において、大幅な赤字になる見込みの場合の対応を改めて検討することとした。

第2号議案　創立50周年記念事業にかかる経費について

神戸会長より、予算の見込みが甘く、予算超過となったことを陳謝し、予算案からの増額が提案された。

理事からは、①特別委員会からの報告が逐次なかったことは遺憾である、②予算内で収めるように努力すべきである、等の意見があった。

審議の結果、当初予算からの増加額を30万円以内に収めるように引き続き調整することで、増額を承認した。

第3号議案　予算の再編成について

浅川理事より、予算の再編成について提案があった。

各部局の予算の増減の提案があった。

審議の結果、第１号議案、第２号議案を踏まえたものを承認した。

また、理事から、①委員会の理事会に対する報告義務を文章化すべきである、②次年度からの予算案作成に向けて、具体的な事業計画に基づいた予算案であること、③理事全員が他部局の予算もしっかりみるべきである、等の意見があった。

８．報告事項

１）拡大役員会の開催について

小堺理事より、12月５日に県リハビリテーションセンターにて行うと報告があった。

２）北谷理事より

県議会での不破県議の質問について、報告があった。

３）次回理事会の開催予定について

理事会

日　時：令和元年11月７日（木）

場　所：県士会事務局

令和元年度 第７回 公益社団法人石川県理学療法士会 理事会議事録

１．開催日時　令和元年10月９日（木）
19：00～21：00

２．開催場所　士会事務所

３．出席者

理事　神戸晃男、諏訪勝志、北谷正浩、矢野昌充、小堺武士、向田裕明、山川友和、浅川佳祐、霜下和也、木村創史、松﨑太郎、丸居夕利佳
（12名／15名）

監事　淺井　仁、長田　勉

書記　村田雅人

４．欠 席 者

理事　廣瀬辰巳、吉本真樹、野口雅弘

監事

５．議長の選任

理事総数の半数以上の出席をみたので、議長に神戸晃男を互選にて選出した。

６．議事録署名人の選任

定款第31条の規定により、次の者が選出された。

議長　神戸　晃男

理事　諏訪　勝志、北谷　正浩

監事　淺井　仁、　長田　勉

７．議案及び議事の顛末

第１号議案　表彰規定細則の追加について

神戸会長より、現在の表彰規定は感謝状について、第13条第３号に「理学療法の普及・発展に極めて優れた業績があった個人・団体に対して、感謝状等を授与することができる。」と記載されているのみで、細かな基準や感謝状の名称の用い方については触れられていないため、今後の感謝状の運用を明確にするため、表彰規定細則を別添のとおり策定したいと提案があった。

審議の結果、一部修正の上、承認した。

第２号議案　創立50周年式典における被表彰者について

神戸会長より、石川県理学療法士会創立50周年節目の式典において、石川県理学療法士会に多大な貢献をされた方、会員等に感謝状を授与したく、別添のとおり表彰委員会からの推薦者の承認をお願いしたいと提案があった。また、加えて副賞の内容についても審議した。

審議の結果、表彰委員会からの推薦者を承認した。副賞は、特別功労感謝状の２名に商品券をお渡しすることとした。

８．報告事項

１）創立50周年記念式典・祝賀会について

辻原委員長より、当日の席次表、進行について報告があった。

２）メルマガのUMIN移行について

松﨑理事より、メルマガのUMIN意向についての進捗報告があった。現在、UMIN IDの新規登録申請手続き中である。

３）次回理事会の開催予定について

理事会

日　時：令和元年11月７日（木）

場　所：県士会事務局

県士会だより

第29回石川県理学療法学術大会のご案内と演題募集のお知らせ

第29回石川県理学療法学術大会
大会長　池田　法子

会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、第29回石川県理学療法学術大会を開催する運びとなりました。今回の学術大会では「明日を描く」をテーマとし、特別講演、シンポジウム、一般演題、企業展示を企画しております。つきましては下記、一般演題を募集致します。なお、今回、初の試みではございますが、英語での演題発表も募集させて頂きます。皆様方より多数のご参加とご発表をお待ちしております。

【開催要項】

日　　時：令和2年3月1日（日）
テ　ー　マ：「明日を描く～未来に繋げ理学療法の可能性～」
場　　所：金沢医科大学病院　北辰講堂（石川県河北郡内灘町大学1－1）
大会参加費：会員1,000円　　非会員1,500円
　　学生　無料（但し、理学療法士有資格者は会員扱いとする）
託　児　室：生後6ヶ月以上（学会開催当日に）の未就学児のお子様を対象に開設致します。
　　ご利用につきましては事前申し込みが必要となります。ご希望の方は、令和2年1月31日（金）までに、下記事務局の舟見までご連絡下さい。

【演題募集要項】

1．募　集　期　間：令和元年10月1日（火）～12月20日（金）
2．応　募　方　法：Microsoft Wordで作成した演題抄録ファイルを、演題応募先の藤田までメールに添付して送信して下さい。件名は「第29回石川県理学療法学術大会演題応募」とし、抄録は演題名、演者名、所属、キーワード（3単語以内）、本文（1200文字以内）を記載してください。
3．発　表　区　分：一般演題　日本語または英語
　　※今年度は、英語での演題発表も募集させて頂きます。

4．発　表　形　式：口述発表のみ

＜口述発表、スライドの形式＞

・会場に用意する PC は Windows10（Microsoft Power Point 2016）です。

・スライド枚数は 15 枚以内とし、発表時間を厳守してください。

・ファイル容量は 3MB 以下としてください。

・口述発表時間は 7 分、質疑応答時間は 3 分です。

・令和 2 年 2 月 14 日（金）までに発表スライドデータを、メールに添付して演題応募先の藤田へ送信してください。動画の使用は不可とします。

5．演 題 応 募 先：　第 29 回石川県理学療法学術大会準備委員　藤田　悠斗　宛

E-mail：pt-toshi@kanazawa-med.ac.jp

6．事　務　局：金沢医科大学病院　リハビリテーションセンター

第 29 回石川県理学療法学術大会準備委員長　舟見　嘉章　宛

〒920－0293　石川県河北郡内灘町大学 1－1

Tel：（076）286－3511（代）　内線：5291

E-mail：y94922 @ kanazawa-med.ac.jp

【大会プログラム予定】

8：30 ～	受付開始
9：00 ～　9：10	開会式
9：10 ～ 11：15	一般演題
11：20 ～ 12：20	特別講演
	テーマ：「脳血管内治療（仮）」
	講　師：白神 俊祐 先生（金沢医科大学　脳神経外科学）
	テーマ：「未来に繋げ理学療法の可能性」
13：20 ～ 14：50	シンポジウム
	テーマ：「未来に繋げ理学療法の可能性」
15：00 ～ 16：00	一般演題
16：05 ～ 16：15	閉会式

＊プログラムは現時点での予定です。演題数などによって時間変更の可能性がありますので、あらかじめご了承下さい。企業展示、書籍コーナーも例年通り行います。

～学術局研修部からのお知らせ～

◇ 2019 年度第 3 回学術研修会のお知らせ◇

学術研修部長　舟見　嘉章

日　時　：令和元年 12 月 15 日（日）13：00 ～ 16：00（受付 12 時 30 分～）
場　所　：専門学校金沢リハビリテーションアカデミー
〒921－8032 石川県金沢市清川町 2－10
TEL：076－280－8151　　FAX：076－280－8557
主　題　：『循環器疾患患者に対する基礎的なフィジカルアセスメント』
講　師　：椿 淳裕（新潟医療福祉大学）
参加費　：1,000 円（会員）、1,500 円（非会員）
参加申込方法：下記の QR コードから申し込みをお願いします。参加費は当日徴収いたします。
参加申込〆切：令和元年 12 月 8 日（日）
主　催　：公益社団法人石川県理学療法士会

本研修会は新人教育プログラム「内部障害の理学療法」の 1 単位を、また、認定・専門理学療法士制度においては 10 ポイントを認定いたします。当日は日本理学療法士協会会員証をご持参下さい。

この研修は、なるべく実習や演習を盛り込む予定ですので、ご参加の方は動きやすい服装と心音を聴くための聴診器（ベル面，膜面の両方がある）を持参してご参加ください。

【お問い合わせ先】

（公社）石川県理学療法士会学術局 担当理事　矢野　昌充
〒920-8032　金沢市清川町 2-10
専門学校金沢リハビリテーションアカデミー
電話　076－280－8151　FAX　076－280－8557
E-mail：ptkra@century.ac.jp

～事務局政策研修部からのお知らせ～
政策研修会のご案内

政策研修部部長　土山　裕之

時下、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

地域包括ケアシステムの構築に向けて、リハビリテーション業界においても医療介護の分野への期待が高まっております。我々に期待されている事は、地域住民の方々に高い評価技術や予後予測能力を発揮することにあるのではないかと考えております。そのために、理学療法士としての専門性を高めるための一助として運動器と神経系のコラボ研修を企画しました。

政策研修部では、地域包括ケアシステムの構築を視野に入れ、各病期の壁をなくし、理学療法士などのつながりの場としての役割を担い、具体的な方策を実行したいと考えています。

また、本研修会の参加にて県内でも認定及び専門理学療法士のポイントが取得できます。ポイント取得にご苦労されている会員の方も多いと伺っております。合間には、疾患別リハに関する 2020 年度診療報酬改定情報も交えながらお話しさせて頂きます。

多数のご参加お待ちしております。

日　時：令和元年 12 月 14 日（土）14：00 ～ 17：10（受付 13：30）

場　所：金沢医科大学病院（4 F 会議室）

内　容：14：00 ～ 15：30「THA の評価と理学療法」金沢医科大学　神戸晃男

15：40 ～ 17：10「脳卒中の理学療法を考える～道具とテクニックそして療法士間のネットワーク」金沢脳神経外科病院　土山裕之

※ 研修会の参加にて、認定及び専門理学療法士　10 ポイントを運動器もしくは神経系の領域のいずれかで取得可能です。

参加費：会員　2,000 円、非会員　3,000 円

当日は、日本理学療法士協会会員証をご持参下さい。

主　催：（公社）石川県理学療法士会　政策研修部

共　催：石川県理学療法士連盟

申込み締め切り日：令和元年 12 月 9 日（月）

申し込み方法：下記の QR コードまたは、URL にて申し込み下さい。先着順に参加を決定とします。尚、天候など諸事情により中止の場合のみ、お断わりの連絡をする事がありますのでご了承下さい。

問合せ先：TEL：076-246-7808　　E-mail：kn-reha@med.email.ne.jp

金沢脳神経外科病院　リハビリテーション部　理学療法士　藤川

申し込み URL、QR コード

https://forms.gle/foLgCCxg2Cms5ZW6A

～事務局からのお知らせ～

異動等の申請はお早目に！
（締切：例年２月半ば頃）

〈重要①〉2020 年度年会費納入について

【2020 年度年会費納入について】

年会費納入期限：2020 年 3 月 31 日（火）

・楽天カード・口座振替での年会費引落日：2020 年 3 月末日
※各自ご確認ください！

【2020 年度年会費未納の場合】

会員権利停止日：2020 年 4 月 1 日（水）

【ご確認のお願い】

振替指定口座の残高 ・ マイページ「郵送物送付先」 ・ 金融機関営業日 等

★詳細：協会 HP →［各種変更届］→［手続きについて］→［一覧／年会費］

〈重要②〉2020 年度異動・休会・退会のご申請について

【お願い】 年会費の請求手続きに影響がある場合がございます。
随時すみやかなご申請をよろしくお願いいたします。

★詳細：協会 HP →［各種変更届］→［手続きについて］→［一覧／該当項目選択］

※ご不明な点等ございましたら士会事務局 076（254）1432 迄ご連絡ください。

石川県理学療法士会創立50周年記念式典・祝賀会のご報告

創立五十周年記念式典・祝賀会準備委員会
委員長　　辻原美智雄

石川県理学療法士会は創立50周年を迎え、10月12日（土）に金沢東急ホテルで記念式典・祝賀会が盛大に執り行われました。

石川県理学療法士会50年の歴史を振り返る神戸会長の式辞に始まり、これまでの歩みや事業、教育研究活動、県民に求められている活動などが紹介されました。谷本正憲石川県知事からは自身の理学療法体験と当士会の県へのかかわりに対する感謝の言葉と表彰者への功績をたたえる言葉がありました。続いて山野之義金沢市長、上田博石川県医師会副会長、羽柴厚金沢市医師会会長、半田一登日本理学療法士協会会長が祝辞を述べられました。功労者への表彰式も行われました。

祝賀会では馳浩衆議院議員、西田昭二衆議院議員から祝辞を賜りました。さらに小松フィルハーモニー管弦楽団による演奏で場が盛り上がりました。また、「石川県理学療法士会の50年、そして未来に向けて」のスライド上映があり、最後のスライドには金沢駅の鼓門・もてなしドームが映されました。伝統の中に近代的なデザインが金沢を訪れた人々を魅了しています。我々、石川県理学療法士会も今までの歴史を踏まえて、今後、新たな視点に立ち、石川県民の健康と自立ある生活に貢献し、石川県民の期待に応えられる公益社団法人の構築、発展に会員一人ひとり取り組んでいく必要がります。

最後に、お忙しい中ご出席いただいた多くのご来賓の皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。また、事前準備から当日運営まで創立50周年記念事業に関わってくださいました多くの会員の皆様、本当にありがとうございました。

創立50周年記念誌 公開のお知らせ

石川県理学療法士会ホームページで、会員限定で創立50周年記念誌を公開いたします。
下記ページより、閲覧可能ですが、閲覧にはパスワード入力が必要となります。なお、パスワードは配布したニュース141号内に掲載しております。

URL：http://www.ishikawa-pt.com/50syuunen.html

なお、50周年記念誌の製本には残部があります。
数が限られますので、希望者先着順で無料で配布いたします。
希望の方は石川県理学療法士会事務局にお問い合わせください。

石川県理学療法士会事務局
TEL：076－254－1431
E-mail：info@ishikawa-pt.com

『第１回臨床実習指導者講習会を開催しました』

臨床実習指導者養成特別委員会
JCHO 金沢病院附属介護老人保健施設　江村　匠史

９月 28 日、29 日に専門学校金沢リハビリテーションアカデミーにおいて「第１回臨床実習指導者講習会（厚生労働省許可第 27 回）」を開催しました。80 名の参加者により大変充実した講習会を実施することができました。参加された皆様、２日間大変お疲れ様でした。

ご存知のとおり理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の改正により、臨床実習指導者は実務経験５年以上かつ、本講習会の修了が必要です。講習会では開催指針に則り、講義とそれに対応するグループワーク（1 グループ６～ 10 人）で理解を深めていきます。改正のポイントとして実習時間の規定、実習前後評価の必修化が挙げられます。また、ガイドラインでは診療参加型実習が望ましいとされ、臨床実習は養成校のみならず実習施設の理解・対応が必要不可欠です。

指定規則の改正は約 20 年ぶりとなります。社会通念の変化により実習の在り方、指導者の資質も問われています。このような機会に養成校、実習施設の連携、卒前・卒後教育の理解がさらに深まれば幸いです。

本年度２回の講習会には多くのお申込みをいただきありがとうございました。来年度も詳細が決まりましたらお知らせさせていただきます。今後とも本講習会の運営にご理解のほどお願いいたします。

～学術局生涯学習推進部からのお知らせ～

新人研修会のお知らせ

学術局長　山川　友和
学術局　生涯学習推進部長　由久保　弘明

	時間	講義名	場所
2／9（日）	11:00 - 12:00	C-7 士会活動･社会貢献（組織および倫理についての研修）	金城大学
	13:00 - 15:00	C-6 症例発表	
3／1（日）		県学会（C-6 症例発表） C-7 士会活動・社会貢献（石川県理学療法学術大会参加）	金沢医科大学病院

【新人研修会ならびに症例発表会の参加について】

注意点

＊会員証のある方は忘れずにお持ちください。発表者は「C-6 症例発表」に加えて、
　研修会の参加、症例発表の聴講でも「C-7 士会活動・社会貢献」の単位を付与致します。

＊開催時間は演題数によって多少変更します。予めご了承ください。。

【演題募集要項】

発表時間：7 分

発表形式：PC プレゼンテーション
　　（OS：Microsoft Windows　ソフトウェア：Microsoft Power Point）

申込方法： A4 用紙 1 枚の抄録を Microsoft Word にて作成し、
　　下記まで E-mail でお送りください。1 枚に収まれば文字数は制限しません。
　　但し、フォントは 10.5 ポイント程度をご使用ください。

抄録申込締切：令和元年 12 月 23 日（月）

スライド受付：予めスライドを下記のアドレスまでお送り下さい（動画は不可）。

スライド締切：令和２年 1 月 24 日（金）

応募先：E-mail： gakujutu@ishikawa-pt.com

詳細及びご不明な点につきましては、下記までご連絡ください。

石川県理学療法士会　学術局　生涯学習推進部
山川　友和（石川県済生会金沢病院リハビリテーション部） Tel: 076－266－1060（代表）

生涯学習制度に関するお知らせ

学術局長　山川　友和

協会 HP や JPTA ニュースでご存知とは思いますが、2021 年 4 月から（新）生涯学習制度が始まる予定です。9 月号では制度変更の目的やポイントについて述べました。今回は、全体像について、ご報告します。また、（新）生涯学習制度になる前に認定及び専門理学療法士の取得を目指す方々には、今一度現在の生涯学習制度における取得方法をご確認いただきたいと思います。

1．（新）生涯学習制度について

1）全体像

【生涯学習開始】

↓

【前期研修】　座学：22 コマ（33 時間）＋ 実地研修：32 コマ（48 時間）

（履修目安 2 年間）

↓

【後期研修】　座学：51 コマ（76.5 時間）＋ 実地経験：3 年程度（6000 時間相当）

（履修目安 3 年間）

↓

【登録理学療法士】　5 年ごとの更新となる

2）2021 年 4 月までにどうすればよいの？

〈新プロ修了者の場合〉

【9 年目以上】 現行制度で新プロ修了していれば、【暫定】登録理学療法士。

【4 － 8 年目】 現行制度で 200P の研修履修ポイントを目指す。
満たしていれば、【暫定】登録理学療法士。

【3 年目】 現行制度で 90P の研修履修ポイントを目指す。
満たしていれば、【見做し】前期研修修了者とし、
移行年度には後期研修の途中からのスタート。

【2 年目】 現行制度で 60P の研修履修ポイントを目指す。
満たしていれば、【見做し】前期研修修了者とし、
移行年度には後期研修の途中からのスタート。

【1 年目】 現行制度で 30P の研修履修ポイントを目指す。
満たしていれば、【見做し】前期研修修了者とし、
移行年度には後期研修からのスタート。

〈新プロ未修了者の場合〉

【９年目以上】 新プロ修了を目指す。満たせば【暫定】登録理学療法士。

【４－８年目】 新プロ修了及び 200P の研修履修ポイントを目指す。
満たせば【暫定】登録理学療法士。

【３年目】 新プロ修了及び 90P の研修履修ポイントを目指す。
満たせば【見做し】前期研修修了者となり、
移行年度には後期研修の途中からのスタート。

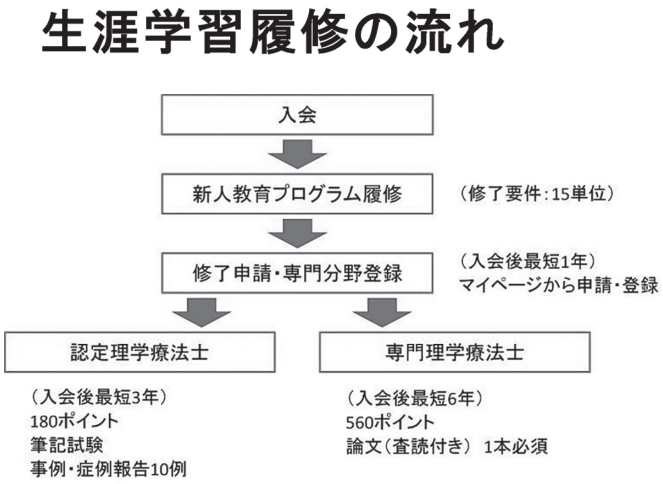
【２年目】 新プロ修了及び 60P の研修履修ポイントを目指す。
満たせば【見做し】前期研修修了者となり、
移行年度には後期研修の途中からのスタート。

【１年目】 新プロ修了及び 30P の研修履修ポイントを目指す。
満たせば【見做し】前期研修修了者となり、
移行年度には後期研修からのスタート。

３）その他

認定・専門理学療法士の条件等については未定です（2019 年 10 月 15 日現在）。

２．（現）生涯学習制度について



＊注意＊
・認定 PT の取得条件として、新プロ修了申請・専門分野登録から 2 年必要です。
・申請方法から事例・症例報告の記載例まで協会 HP に掲載されております。
ご参照ください。

３．新人教育プログラム未修了の方へ、e- ラーニング活用のお知らせ

協会による e- ラーニングの利用（会員歴により制限あり）も可能ですので、研修会開催情報・e- ラーニングに関する情報は協会 HP・同マイページ等を参照して下さい。

【問い合わせ先】

石川県理学療法士会　学術局　生涯学習担当　山川　友和（石川県済生会金沢病院）
Tel: 076－266－1060　　E-mail: gakujutu@ishikawa-pt.com

～職能局地域包括ケア推進事業部からのお知らせ～

◇地域理学療法ネットワーク事業 in 金沢支部　情報交換会の報告◇

職能局 地域包括ケア推進事業部兼業務推進部 金沢支部
納谷　旭洋、正司　佳久、古矢　泰子、丸居　夕利佳

職能局では理学療法士同士のつながりを構築するため、地域理学療法ネットワーク事業を毎年開催しており、10 月 18 日に金沢地区の情報交換会が行われました。今回は、講師 2 名に講義をして頂いた後、各職場や県士会事業に関して食事をとりながらざっくばらんに情報交換を行いました。次年度も各施設の理学療法士が繋がりをもてるような研修会の企画運営をしていきますので、奮ってご参加ください。今回は報告・アンケート結果を掲載致しますので、ご覧ください。

＜研修会報告＞

日　時：令和元年 10 月 18 日（金）　19：00 ～ 21：30
会　場：Restaurant　&　Bar　INDIGO
テーマ：「ネットワークの必要性を理解する～石川県理学療法士会の現状から～」
参加者数：20 名

講義①　山川　友和氏（石川県理学療法士会　理事）
「生涯学習システムについて～いま認定・専門 PT を取得するには～」

2021 年 4 月より「新生涯学習制度」の運用が開始され、現行の制度との違いや、新設される「登録理学療法士」の取得に関して経験年数に応じて説明を頂きました。制度変更後はカリキュラムが増加し、各資格取得時には膨大な時間が必要となり、リハビリテーションの質の担保が急務であることが認識出来ました。県士会として多くの登録・認定・専門理学療法士を輩出していきたいとの思いが聞かれ、制度変更前に少しでも現行のカリキュラムを多く受けておく事が推奨されていました。

講義②　北谷　正浩氏（石川県理学療法士会　副会長）
「石川県理学療法士会の活動及び今後の展望」

県士会は数多くの部局に分かれていますが、活動内容を詳しくお話頂きました。理学療法士の職域を守り、拡大する為の活動もあり、
今後、社会に対して理学療法士の必要性を訴えていく事が重要であると認識する事が出来ました。

<u>グループワーク</u>

グループワークでは大変参考になる意見をたくさんいただきありがとうございました。誰もが活動しやすい・身近に感じられる士会となるように、組織改革に取り組んでいきたいと思います。

＜グループワークでの意見＞

□ 職場で普段感じていること

【残務】

・ 仕事、自主参加の境目をはっきりしたい。年代で考え方が違うので課題あり。

【教育】

・ 新人が増え、業務内容も多様になり教育が追い付かない。中堅の教育も同様な問題あり。

・ 学会への参加率が低い。→年度計画に必須で組み入れている職場あり。職場での休暇の取得しやすさや評価制度にも影響されている。

□ 県士会に対する要望・意見

【会員】

・ 子育て世代に対する配慮。（特に女性に対して）

・ 各部の部員の確保の方法。（負担の集中など）

【研修会】

・ 研修会のあり方。（各研修会や事業の整理）

・ 新人症例発表会はフランクな場で開催できないか。（ナイトセミナーのように食事をしながらなど）

・ ネットワーク研修で声を掛けた人材が現在多数士会事業で活躍しており、事業として評価できる。

【連携】

・ 市町村単位でのブロック化。ブロック別での症例検討などの企画。支部別のリーダーの配置。

・ 他事業所同士の交流として、別分野の現場見学など県士会から促せないか。

【推進リーダー】

・ 地域で働ける理学療法士の輩出。質が落ちないよう指標作り。活用方法を明確化したい。

・ 人材活用の明確化できないか。

【臨床実習】

・ 卒後教育の一環として、臨床実習地に対して教員から研修会の実施はできないか。

・ 臨床実習の評価用紙や方針などはある程度は県内養成校で統一できないか。

【認定・専門】

・ 県内に分野別で認定 PT が欲しい。（取得していない分野に対する支援）

・ 認定・専門 PT 取得のメリットやステータス。

【運営】

・ マイページを閲覧できないまたはしていない会員への周知方法。

・ 各施設の状況把握のためのラウンドを県士会理事で実施してはどうか。

・ 研修会のメルマガをアップするためのアドレスの記載。メルマガの内容が多く逆に情報が洩れてしまう。整理をしてほしい。

＜アンケート結果＞

○回収率　95％（回答者数　19 名）　○経験年数　平均 18.8 年（7 ～ 36 年）

			そう思わない	あまりそう思わない	少しそう思う	そう思う
①近隣病院や施設で働く PT の名前と顔・考え方がわかる						
1	地域で患者（利用者）に関わっている PT の、名前と顔がわかる		1	6	5	7
2	地域で患者（利用者）に関わっている他施設の役割や機能がわかる		0	7	6	6
3	地域で患者（利用者）に関わっている他施設のできること・できないことがわかる		1	6	10	2
②近隣病院や施設の PT と会ったり話し合う機会がある						
4	近隣の PT と直接会って話す機会がある		2	4	7	6
5	PT（中堅以上）同士で話し、職場の問題や解決策を相談する機会がある		3	6	7	3
6	地域連携に関する課題を共有し、話し合う機会がある		4	7	6	2
③士会活動に関して						
7	生涯学習システムを理解できている		2	7	9	1
8	石川県理学療法士会がどのような活動を行っているか知っている		1	3	10	5
9	石川県理学療法士会の活動は会員の役に立っている		0	3	13	3
10	日本理学療法士協会がどのような活動を行っているか知っている		1	7	8	3
11	日本理学療法士協会の活動は会員の役に立っている		1	7	9	2
		不満	やや不満	普通	やや満足	満足
⑤地域理学療法ネットワークの成果						
12	「生涯学習システムについて～いま認定・専門 PT を取得するには～」	0	0	3	5	11
13	「石川県理学療法士会の活動及び今後の展望」	0	0	4	6	9
14	グループワーク	0	1	1	6	11

◇令和元年度　地域理学療法ネットワーク会議 in 加賀支部　活動報告◇

職能局　地域包括ケア推進事業部 兼 業務推進部　加賀支部 部長 高圭介

今年度より職能局では各ブロックにおける理学療法士のつながりや医療・介護連携の促進を目的に、地域包括ケア推進事業部と業務推進部の二つの部会を合わせて一つの部会として活動開始しました。地域での理学療法士同士のつながりを構築するために、地域ネットワーク事業を開催しました。

＜報告＞

日　時：令和元年 9 月 7 日（土）　第一部　17：30 ～ 18：45　第二部　19：00 ～ 20：30

場　所：辰口福祉会館

テーマ：第一部　石川県理学療法士会の活動及び今後の展望について
　　加賀支部活動の紹介、グループワーク
　　第二部　軽食をとりながら情報交換会

今回は、地域におけるつながり構築を念頭に病院、施設、一人職場の方々にも電話や FAX などを用いて声掛けしていくことで第一部 41 名、第二部 24 名の病院、施設、小児分野など合計 24 施設の幅広い職域の会員に参加いただきました。県士会・部会の活動展望を踏まえて、グループワークを通してそれぞれの感じる課題について話し合いました。

どのグループも共通して地域においてのつながりが少なく、お互いの情報交換がしにくい状態となっていると再認識できました。こういった会を通して顔の見える関係作りから始めて、今後地域においてより小さなグループから拡げて各々が連携をとっていけるきっかけになったのではないかと思います。

今回の研修会の終了後アンケートでは満足度 97％でした。この結果を前向きに捉え、部会としての方向性も再認識できましたので、今後も地域での連携のきっかけとなる機会をつくっていければと考えております。

（作成：やわたメディカルセンター　城戸内駿）

◇令和元年度管理者ネットワーク（職域別リーダー）研修会 ＆地域理学療法ネットワーク会議 in 能登支部　活動報告◇

職能局 地域包括ケア推進事業部兼業務推進部 能登支部　大矢 陽介、原 文香、岩島 誠、細口 智之
谷内 諒祐、上仲 忍、米田 由美

職能局では、今年度より地域包括ケア推進事業部と業務推進部を統合した形で３支部化（能登、金沢、加賀）し、今回は能登支部が主管となって管理者ネットワーク（職域別リーダー）研修会を開催いたしました。この研修会は、職域別の中央研修を受講された４名の会員に講師として伝達講習を行っていただくもので、同じ職域で従事する理学療法士の横のつながりを構築することを目的に開催しています。今回は、地域理学療法ネットワーク事業も「第２部」として同日開催いたしましたのでご報告いたします。

会場が七尾ということもあり、能登地区を中心に39名の会員に参加して頂きました。各職域に分かれての伝達講習の後には、チェックリスト等を用いて抽出した課題をテーマにグループワーク（以下GW）を行いました。それぞれの職域毎に施設や地域で求められる理学療法士の在り方等を話し合いました。GWの発表は全体で行うことで、全参加者が職域の枠を越え、幅広い意見や新しい視点等を得ることが出来ました。

事業所を開設したばかりや、これまでリハ職がいない職場で勤め始めた等、経験年数が浅くても管理者やリーダーとしての役割を求められている参加者もいました。同じような悩みを共有し、情報交換することができていたようです。

第２部は会場近くのお店に場所を移し、昼食を摂りながらの意見・情報交換を行いました。講義を終えた講師を含め講義・GWからは少し肩の力を抜いた会員のコミュニケーションの輪があちこちでみられました。職域別の横のつながりだけでなく、職域を跨いだ横のつながりもやはり重要なのだと感じられました。

他職種との連携や教育、地域住民との関り等、理学療法士として活躍の場も広がっています。様々なニーズに応えていけるように、職域別・地域別での理学療法士のつながりをより強固にしていく必要があると感じました。

“管理者”や“リーダー”といった言葉が研修タイトルに入っていることで、経験年数の浅い方には研修参加の敷居が高く感じられた方もいらっしゃったかと思います。経験年数や年齢は関係なく、GW等を通して横のつながりや、理学療法士としての資質向上につながる機会を今後も作っていければと考えております。

＜研修報告＞

日　時：令和元年８月11日（日）
　　９：30～12：30（第１部）、13：00～15：00（第２部）
会　場：国際医療福祉専門学校 七尾校　作業第３教室 他
内　容：職域別に会場を分かれての中央研修伝達講習ならびにGW、
　　全職域合同での発表、意見交換会（第２部）
参加者数：第１部39名（能登地区25名、金沢地区13名、加賀地区１名）、
　　第２部23名

【急性期】参加者数：12名

講義『ADL維持向上等体制加算と専従者の役割と求められる能力』

GWテーマ「“病棟専従者に望まれる能力”とその能力をどのように身につける（身につけさせる）か」

望まれる能力として「コミュニケーション能力」と「マネジメント能力」を取り上げた。困難症例への対応や予後予測ができる臨床能力だけでなく、多職種の業務に対する理解や日頃からの関係作り、他者の意見を聞き、自身の意見を的確に発信できることを通して、信頼を得ることが重要と意見が挙がった。管理者には専従者の人員配置も含め働きやすい環境づくりをすることとまとめられた。

【回復期】参加者数：6名

講義『これからの回復期リハビリテーション病棟マネジメント』

GWテーマ「自施設におけるこれからのリハビリテーション提供体制を考える」

入院中の理学療法の円滑な実施“できるＡＤＬをしているＡＤＬにつなげる仕組み”について検討した。現状・課題としてADL状況を共有するカンファレンスシートがない（あるが運用方法に課題ある）ことや、回復期リハの概論（病棟のあり方、リハとNs.との協働等）の理解不足等が挙がった。定期的な学習会や病棟でのリハビリテーションの実施により、病棟スタッフにリハビリ状況を見てもらうなどの工夫が提案された。

【地域包括ケア病棟】参加者数：7 名

講義『地域包括ケア病棟に求められる理学療法士の関わり方～多様な介入方法と教育の取り組み～』

GW テーマ「地域包括ケア病棟でのよりよいリハ提供体制にむけて」

各施設の実施状況や体制を意見交換した。カンファレンスの不十分さや棟内での ADL（特に入浴や排泄）に関する具体的な関わりが不十分であることが課題として挙がった。セルフケアに関する評価（動作、環境、退院後のサービス）をしっかりと行い、棟内スタッフとの情報共有（カルテ記録、チェックリスト）により、カンファレンスの質を向上させることが今後の取り組みとしてまとめられた。

【生活期】参加者数：14 名

講義『地域で活躍できる理学療法士の育成』

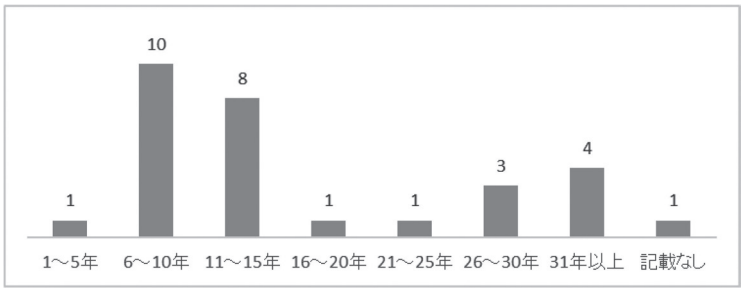
3 グループそれぞれに 3 つずつ課題を抽出し解決策を意見交換した。活動参加に向けた取り組み、利用者の社会参加の取り組みおよびフォローアップ、地域ケア会議や介護予防事業への参加、自立支援に向けた事業所構築、多職種連携のための教育、地域のインフォーマルサービスとの連携が課題として取り上げられた。職域・職場の業務だけでなく、地域の事業・サービスに対する情報知識を深めることや、対象者に関わる様々な職種や支援者との連携を図るコミュニケーション能力の向上が必要との意見が多く挙がった。

＜第 1 部アンケート結果＞

回答者数：29 名（回答率 74.4%）

経験年数：右グラフに示す

所　　属：病院 24 名（83%）、訪問・通所施設 4 名（14%）、その他 1 名（3%）



・昨年度も同研修に参加したという参加者は 41%で、昨年度の研修会で掲げた課題を「達成した」との回答はなかったものの、いずれも個人あるいは「部署単位で検討」を行ったり、「取り組みを開始」したりしており、「進展なし」との回答はなかった。

研修会の感想

・まだまだ取り組みが必要な課題をみつけることができた。体制を整えていきたい。
・具体的なアクションプランが一つ出せたので良かった。
・他施設の状況やどのように感じているか等、話を聞き参考にすることができた。
・管理を全てしていないので分からない話もあった。

初参加者の感想

・他職場の PT の方々と情報交換できる場だと思うので、大変有意義でした。
・当院でも取り入れることができる内容は実践していきたいと思います。
・似たような悩みを感じている病院があって参考になった。
・自分の課題を整理する機会になりました。ありがとうございました。

今後の研修参加希望　参加したいと思う 97%、どちらともいえない 3%、参加したいと思わない 0%

・他職種、他職域との GW をしてみたい。他の職域の講義も聞いてみたいと思いました。
・PT 同士の横のつながりをつくりやすい。
・テーマだけではなく他施設の方との情報交換ができるので、非常に有益だと思います。
・まだまだ不足があるのでまた参加したいです。

＜第 2 部アンケート結果＞

回答者数：17 名（73.9%）

参加者の感想

・食事を交えることで会話も弾み良かったと思います。
・職域を越えて他の病院の参加者と話ができて良かったです。
・ナイトセミナーのような形で夜に懇親会をするのもいいですが、ランチ会の方が女性や家族がいる世代のスタッフは参加しやすいかもしれないです。
・研修会よりも気軽に交流でき、研修以外のお話も聞けて良かったです。

特派員がゆく
～ Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team 石川 ～

災は平成最後の漢字として、京都の清水寺で昨年発表されました。今年に入っても、日本の「災」は起こり、台風や地震等の災害は続いています。しかし、市民や団体による災害支援は活発になり、リハビリテーション業界においても、Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team（以下 JRAT）が組織されました。そして、2019 年 4 月には JRAT 石川の活動が開始され、組織設立後、初の研修会が 8 月 25 日に金沢医科大学にて行われました。研修会では「災害時あなたは何ができますか 発災直後編（フェーズⅠ）」というテーマで、多職種で機能する事の重要性について、講演とグループワークが行われました。当日は約 70 名のリハビリテーション（以下リハ）職、医師や看護師など多職種の方々が、災害支援に対する議論を行っていました。今回講師として講演された、公立羽咋病院の理学療法士、災害支援ケアマネジャーでもあり当会副会長、北谷正浩氏に取材を行いました。

＜ JRAT としての熊本地震での支援活動＞

― JRAT 石川の設立の経緯について教えて下さい.

北谷氏「東日本大震災を機に、災害時にリハ専門職が連携して速やかに対応出来る事を目指して、都道府県単位で、平成 25 年より災害リハコーディネーター養成研修会に参加していました。その中央研修には県内の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の 3 士会、ケアマネジャー協会、リハ医学会、回復期リハ病棟協会の方からそれぞれ、研修に参加していました。しかし、県として組織化するに当たっては、やはり、それぞれの職能団体の方に、どういう働きかけをして JRAT を組織化すれば良いのかという所で、しばらく足踏み状態が続いていました。ただ今回、リハ医学会の小松ソフィア病院の河崎先生から、県の医師会の理事になられている先生方は、若い年代になってきて、災害支援に対して理解をされている先生方が、多数いるので協力します、とお声掛けしてもらいました。以前から、河崎先生とは地域リハ活動で、ネットワークが出来ていたので、多職種の枠を超えて組織化する事ができました。」

＜グループワークの様子＞

― 災害時には日ごろの地域での活動が重要との事ですが、どのようにお考えでしょうか？

北谷氏「顔の見える関係を作っている事が、まずひとつ大前提にあると思います。やはり災害時は自分達だけで解決できない事が非常に多いので、日ごろから、地域住民の方々、専門職で多職種の方々と関係を構築しておく事が大事だと思います。また、行政も機能不全に陥っている事が多いので、災害時には、やはり行政のサポートをするという意味では、今言われている地域包括ケアの介護予防事業の展開と、すごく似通った位置関係にあると思います。その地域でのリハの展開は災害支援という立場においても重要だと思います。」

＜災害支援についての講演の様子＞

― JRAT 石川として、今後の展開を教えて下さい.

北谷氏「まずは第一段階として、会員の方々に、災害支援に対する動機付けを、今日のような研修も含めてさせて頂こうと思います。また、今後はそれぞれの職能団体が、どのように具体的に活動するのかを、考えていく必要があります。JRAT として個々の団体へのサポートを含めて、研修会をしていければ良いですね。また今回は、フェーズⅠについての講演でしたが、実際には復興期フェーズⅣまであります。フェーズⅣでは、具体的にリハ職の活動する事が実際に多くなってくるので、そういう場面のイメージ化を、活動の例を通して、今後皆さんに深めて頂ければ良いと思います。」

取材：石田

Active

市町事業に関わるリハビリテーション専門職育成研修に参加して

志賀クリニックデイケアセンター　　**今江　由紀**

今回、令和元年8月31日に石川県リハビリテーションセンターで開催された市町事業に関わるリハビリテーション専門職育成研修に参加させて頂きました。

第1部は、(株)ライフリーの佐藤孝臣先生が「地域包括ケアシステム時代に地域からみたリハビリテーション専門職に求められること」と題して特別講演されました。「ネガティブな課題が見えないことが最大の課題である。」と言う言葉が印象的でした。地域課題が見えても、解決の糸口が見えない時があります。先生の言葉で、糸口が見えなくても、解決に近づいている、諦めず努力する必要があると感じました。

第2部では、「わが町の地域ケア会議と介護予防事業を知ろう」と題して、地域ケア会議演習や各市町の短期集中C型のサービスの紹介がありました。各市町の紹介では、地域の事情に合わせた工夫した取り組みの内容を聞くことができ、とても勉強になりました。私も、C型に取り組んでいる施設でもあり、町職員でもあるので、更なる効果の高いサービスが提供できるように事業に取り組んでいきたいと思います。

石川県理学療法士会 2019年度臨床実習指導者講習会に参加して

有川整形外科医院　　**坂下　竜之助**

2019年9月28日、29日に2019年度臨床実習指導者講習会に参加しました。本講習会は、金沢リハビリテーションアカデミーで行われ、第1回として石川県では初めての講習会となりました。二日間にわたって講義と演習があり、講義内容に沿ったグループディスカッションを行いました。グループディスカッションは、演題に対してグループの考えをまとめ発表を行いました。10グループがあり、様々な考え方を聴くことができました。外部との先生と話す機会にもなり、学生の指導方針をどうしているか参考になることもありました。このような指導者としての講習会の場があることは、貴重な時間でもあり良い勉強になりました。

理学療法士及び作業療法士の学校養成施設指定規則の改正により、今後実習生の指導は大きく変わっていくと思います。当院での今後の指導方針について、考えていきたいと思いました。

「福祉のつどい 2019 金沢」に参加して

金沢西病院　　**菅井　若奈**

令和元年９月６日に金沢市松ヶ枝福祉館・松ヶ枝緑地にて金沢市社会福祉協議会が主催する「福祉のつどい 2019 金沢」に健康相談事業部の事業として参加致しました。

「福祉のつどい」は地域の方々に福祉を身近に感じてもらうことを目的に毎年開催されているイベントです。金沢市内の様々な福祉施設やボランティア団体がショップや体験コーナーを提供され、私たちは「ロコモチェック」のブースを設けさせて頂きました。内容は血圧・握力測定と、ロコモ度テストの立ち上がりテスト・２ステップテストを行いました。その結果をフィードバックするとともに、ロコモを予防するための食事や運動のアドバイス、パンフレットの配布を行いました。当日は猛暑で水分補給を欠かせない１日でしたが、健康が気になって立ち寄る方や、「理学療法士会」を見て来場してくださる方が多くいました。実際に自身の身体の状態を把握し、普段の食事・運動習慣を見直す機会になれば幸いです。

今回の活動を通し、職場外で理学療法士が地域の方に周知されていることを肌で感じることができました。今後も健康相談事業部の活動を通して、地域の皆様の健康に貢献できるよう活動に参加していきたいと思います。

第40回健康づくりフェアに参加して

済生会金沢病院　　**波　拓夢**

この度、令和元年9月28日に金沢健康プラザ大手町にて開催されました金沢・健康を守る会主催による第40回健康づくりフェアに参加させて頂きました。当日は多くの方々にご参加頂き、終始和やかな雰囲気の中で活動することが出来ました。

今回の事業で私たちは足の健康チェックと題して、参加された方のフットプリントを取り、それを基に運動指導や生活指導のアドバイスをさせて頂きました。活動中、参加された方からは病気や怪我をしないためにはどうしたら良いか、今ある痛みを軽減させるにはどうしたら良いか等、ご自身の健康を気遣う声が多く聞かれました。普段、病院で働いている私は、入院し既に治療を受けている方を担当していますが、今回の活動を通して、直ぐに治療を必要としていなくても身体に痛みを有している方や、健康に生活を送れるか不安を抱えている方に対して、障害予防を図ることも理学療法士の重要な役割ではないかと、改めて感じました。

今後も病院内だけに留まらず、障害予防に繋がる活動に参加し、理学療法士として多くの方々の健康増進に寄与していけると幸いです。

脳卒中患者に対する運動学習理論に基づいた歩行介入の講義を受けて

金沢脳神経外科病院　　**河合　修介**

令和元年8月31日に金沢脳神経外科病院にて藤田医科大学より大塚先生にお越しいただき、「脳卒中患者に対する運動学習理論に基づいた歩行介入　ロボットリハビリテーションの知見を交えて」という題にてご講義いただきました。運動学習の基礎から片麻痺患者の歩行の病態、臨床上での歩行練習について実際に進められている研究結果も交えながらであり、興味深く学ぶことができ、とても勉強になりました。中でも、三次元動作分析による歩行動作分析では片麻痺患者さんの異常歩行の種類や出現率、装具の有無による歩容の変化を定量的に評価できることから、臨床応用も期待されているということにとても興味が惹かれました。

私自身、動作分析に対して苦手意識を持っていましたが、異常動作はある部位の機能不全に対して行われる代償動作が影響しているということを学びました。動きの中で、どこが問題点なのかを分析し、患者さんと共有することで、目標の達成を目指していけるように今後も頑張っていきたいと思います。

賛助会員名簿

【2019年11月1日現在】

－A会員－

施設名	郵便番号	住所	TEL
社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院	926-8605	七尾市富岡町 94	0767-52-3211
金城大学	924-8511	白山市笠間町 1200	076-276-4400

－B会員－

特定医療法人社団　勝木会	923-8551	小松市八幡イ 12-7	0761-47-1212
医療法人社団橘会 整形外科米澤病院	920-0848	金沢市京町 1-30	076-252-3281
専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー	921-8032	金沢市清川町 2-10	076-280-8151
医療法人社団慈豊会　久藤総合病院	922-0024	加賀市大聖寺永町イ 17	0761-73-3312
国際医療福祉専門学校七尾校	926-0816	七尾市藤橋町西部 1	0767-54-0177

－C会員－

医療法人社団　下崎整形外科医院	924-0802	白山市専福寺町 158-3	076-274-5000
セントラルメディカル株式会社	920-0024	金沢市西念 3-1-5	076-262-1111
医療法人社団映寿会 映寿会みらい病院	920-8201	金沢市鞍月東 1-9	076-237-8000
医療法人社団　安田内科病院	921-8047	金沢市大豆田本町ハ 62 番地	076-291-2911
医療法人社団　有川整形外科医院	924-0882	白山市八ツ矢町 232-2	076-275-7500
医療法人社団さくら会　森田病院	923-8507	小松市園町ホ 99-1	0761-21-1555
医療法人社団和楽仁　芳珠記念病院	923-1226	能美市緑が丘 11-71	0761-51-5551
医療法人社団博友会　金沢西病院	920-0025	金沢市駅西本町 6-15-41	076-233-1811
株式会社 トミキライフケア	920-0061	金沢市問屋町 2-74	076-237-0708

－Ｃ会員（続き）－

施設名	郵便番号	住所	TEL
株式会社　済世館	920-0944	金沢市三口新町 2-2-25	076-231-7284
有限会社　丸山義肢製作所	920-1167	金沢市もりの里 2-32	076-222-1068
金沢医科大学病院	920-0293	河北郡内灘町大学 1-1	076-286-3511
株式会社　金沢義肢製作所	920-0935	金沢市石引 1-11-6	076-231-3328
独立行政法人地域医療機能推進機構 金沢病院	920-8610	金沢市沖町ハ 15	076-252-2200
日本赤十字社 金沢赤十字病院	921-8162	金沢市三馬 2-251	076-242-8131
医療法人社団浅ノ川 金沢脳神経外科病院	921-8841	野々市市郷町 262-2	076-246-5600
市立輪島病院	928-8585	輪島市山岸町は１番１地	0768-22-2222
社会福祉法人徳充会　青山彩光苑	926-0831	七尾市青山町ろ部 22 番地	0767-57-3309
公益社団法人石川勤労者医療協会 城北病院	920-8616	金沢市京町 20-3	076-251-6111
公益社団法人 石川県脳卒中リハビリテーション協会	921-8105	金沢市平和町 1-3-1　平和町庁舎３階	076-214-6650
珠洲市総合病院	927-1213	珠洲市野々江町ユ部 1-1	0768-82-1181
石川県リハビリテーションセンター	920-0353	金沢市赤土町ニ 13-1	076-266-2860
社会福祉法人　恩賜財団　済生会 石川県済生会金沢病院	920-0353	金沢市赤土町ニ 13-6	076-266-1060
医療法人社団浅ノ川 浅ノ川総合病院	920-8621	金沢市小坂町中 83	076-252-2101
帝人在宅医療株式会社 金沢営業所	920-0024	金沢市西念 4-3-25　ＮＳビル	076-224-8686
医療法人社団博洋会 藤井脳神経外科病院	920-0362	金沢市古府 1-150	076-240-3555
医療法人社団瑞穂会　みずほ病院	929-0346	河北郡津幡町字潟端 422-1	076-255-3008
石川県理学療法士連盟	920-8204	金沢市戸水 1-25	076-254-1431

会員名簿の内容に変更ございませんか？

本会では毎年９月に会員名簿を発行し、会員ならびに賛助会員の皆様へ配布しております。

もし、名簿の内容に変更がございましたら、会員各自で名簿内容の修正をお願いします。
修正の方法は、日本理学療法士協会ホームページ内の【マイページ】よりログインし、お手続きください。
ぜひ、ご協力をお願いします。

問い合わせ先
公益社団法人石川県理学療法士会事務局
〒920－8204　石川県金沢市戸水１丁目25
TEL : 076 － 254 － 1431
FAX : 076 － 254 － 1432
E-mail : info@ishikawa-pt.com

県士会ニュース

求人広告についてのお　し　ら　せ

－広告料金－

１／８	ページ	5,000 円
１／４	ページ	10,000 円
１／２	ページ	20,000 円

求人広告については、下記へお問い合わせ下さい。

〒924－8511　石川県白山市笠間町 1200
金城大学　医療健康学部　理学療法学科
山本　拓哉
TEL : 076 － 276 － 4400
FAX : 076 － 275 － 4316
E-mail : yamamoto@kinjo.ac.jp

－自由投稿募集－

県士会ニュースでは、みなさんの投稿による自由投稿枠を設けています。内容は問いません。
意見、質問、表紙に相応しい写真などなんでも OK です。
投稿希望の方は下記まで、まずご連絡ください。
投稿〆切は５・８・11・２の各月の１日となっております。沢山の投稿をお待ちしております。

〒924－8511　石川県白山市笠間町 1200
TEL : 076－276－4400　FAX : 076－275－4316　E-mail : yamamoto@kinjo.ac.jp
金城大学　医療健康学部　理学療法学科　山本　拓哉

編集後記

今回のニュースは大変なボリュームとなりました。多くの情報を会員の皆様にお伝えすることで県士会や各会員の動き、活躍を知ることができます。これからもニュース編集部一丸となって石川県士会を盛り上げていきたいと思います。

発行：公益社団法人　石川県理学療法士会　編集：事務局ニュース編集部

野口　雅弘　山本　拓哉　石田　勝也　岩佐　和明　岩田　翔平　小川　雄右　神谷　晃央
木村亜沙子　澤田　康平　西田　好克　浦　遼司　坂下竜之助　本間　文子　北山　彩香

IPTA